

## 原油相場の下値をサポートするOPECの産油政策

NYMEX原油先物相場は、米国を中心として景気減速懸念を背景に上値の重い展開が続いている。米国内需給に対する緩和圧力も強く、8月4日の82.97ドルをピークに、足元では70～75ドル水準まで値位置を切り下げている。ただ、同水準からの下落余地は限定的とみている。

その鍵を握るのが、石油輸出国機構（OPEC）の産油政策である。OPECは2008年のリーマンショック後の景気後退局面で大規模な減産に踏み切り、供給量を抑制することで原油相場をサポートする姿勢を鮮明にした。

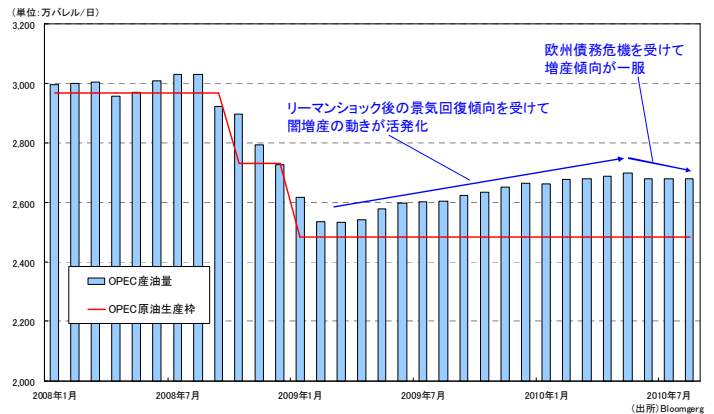
ただ、その後の景気回復傾向と連動して、生産協定枠を上回る増産（いわゆる闇増産）が活発化し、足元では生産枠が日量2,485万バレルであるのに対して、2,680万バレル規模の生産が行われている。

もともと、今年に入って欧州債務危機が発生する中、OPECの産油量の増加トレンドは一服し、6月以降は逆に減産圧力が強くなっている。需要環境の先行き不透明感に加え、5月にWTI原油相場が一時70ドル台を割り込むなど、原油生産の収益環境が悪化していることで、増産意欲が後退している模様だ。

現段階では直ちに追加減産が議論される状況にはないと考えているが、10月14日のOPEC総会に向けて原油相場が一段と軟化する事態になれば、闇増産の解消からより踏み込んだ市況対策が導入される可能性が高い。

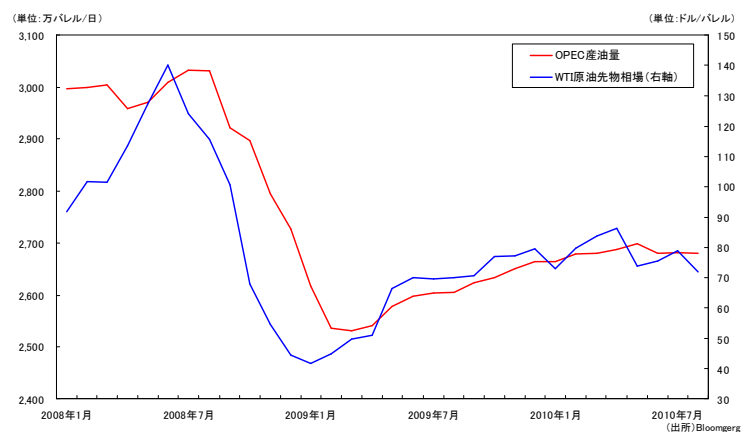
OPECは現在の原油相場が「供給超過」との見方を変えていない一方、サウジアラビアのヌアイミ石油鉱物資源相は「70～80ドルが適切」と具体的な価格ターゲットを表明している。株価連動で上値の重い展開が続いているが、産油国の論理がこれ以上の価格低下リスクを限定することになるだろう。

<OPEC産油量の推移>



OPEC産油量は2009年2月をボトムに増加傾向も、足元では需要環境の先行き不透明感と相場軟化で、増産圧力が後退する。

<OPEC産油量と原油相場の関係>



OPECは産油量を決定する上で原油相場の動向を極めて重視していることが確認できる。

# Commodity Market Report

2010/09/03(金)

大起産業株式会社 調査研究室 小菅 努

TEL:052-201-6311(代表)  
kosuge\_tsutomu@hotmail.com

## 注意事項

※本レポートは投資判断の参考となる情報提供を目的としたものです。弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。※本レポートは、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。※本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、筆者及び弊社は責任を負いません。※弊社の都合で、本レポートの全部または一部を予告なしに変更することがありますので、予めご了承ください。

※商品先物取引は証拠金取引であり、相場の変動によって利益も損失も生ずる恐れのある取引です。取引本証拠金の額に比べて何十倍もの金額の取引を行うため、その利益や損失も預託している取引証拠金の額に比べると高いものとなることがあります。※商品先物取引は委託に際して取引証拠金等の預託が必要になります。最初に預託する取引本証拠金の額は商品によって異なりますが、最高額は、最低取引単位(1枚)当り最高165,000円です。但し、実際の取引金額は取引本証拠金の額の14倍から29倍という著しく大きな額になります。また取引証拠金等は、その後の相場の変動によって追加の預託が必要になることがありますので注意が必要です。但しその額は、商品や相場の変動によって異なり、一様ではありません。※商品先物取引の委託には委託手数料がかかります。その額は商品によって異なりますが、最高額は、最低取引単位(1枚)当り11,130円です。※弊社の企業情報につきましては、弊社の本・支店及び日本商品先物取引協会の本・支部・ホームページで閲覧できます。※本取引についてのご相談窓口 大起産業(株)取引相談室[名古屋市]:0120-706030、日本商品先物取引協会相談センター[東京都]:03-3664-6243

【注】証拠金、手数料等の額は2010年1月12日現在のデータです。

## 当レポートについてのお問い合わせ先

【会社名】 大起産業株式会社 (Daiki Sangyo Co., Ltd.)  
【所在地】 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦2-2-13 (名古屋センタービル2階)  
【URL】 <http://www.daikiweb.co.jp>  
【電話】 TEL:052-201-6311(代表) FAX:052-220-1593

### 【執筆担当】

大起産業株式会社 調査研究室 エキスパートスタッフ  
小菅 努 (こすげ・つとむ)  
E-Mail: [kosuge\\_tsutomu@hotmail.com](mailto:kosuge_tsutomu@hotmail.com)  
Blog: <http://ameblo.jp/kosuge-tsutomu>  
Twitter: [http://twitter.com/kosuge\\_tsutomu](http://twitter.com/kosuge_tsutomu)

### 【個人のお客様・投資家の皆様へ】

当レポートに関するお問い合わせは、全てE-Mail ([kosuge\\_tsutomu@hotmail.com](mailto:kosuge_tsutomu@hotmail.com)) にて承っております。電話によるお問い合わせは、ご遠慮下さいますようお願い申し上げます。

本レポートは投資判断の参考となる情報提供を目的としたものです。弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。注意事項の詳細については、最終項をご参照下さい。